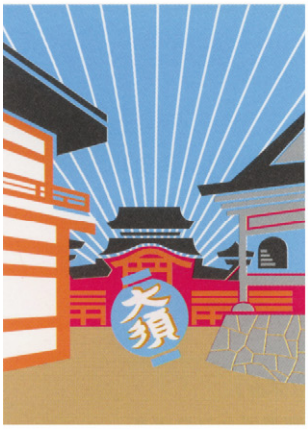

名古屋大須ロータリークラブ

THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-OSU WEEKLY REPORT No. 1022

＜本年度クラブ会長方針＞

Ever Onward ～いつも前を向いて～

承　認　1985年2月12日　例会日　木曜日12：30　例会場　名古屋東急ホテル
会　長　小澤　幸男　事務局　名古屋市中区栄4丁目6番5号　丸越ビル6F
幹　事　太田　裕　電　話　(052)251-0181　FAX　(052)251-0337　〒460-0008
URL　http://www.nagoya-osu.org　E-mail　office@nagoya-osu.org

夢をかたちに

2008-2009年度　R.I.会長
李 東建 Dong Kurn Lee
Rotary International President

第1203回例会

世界理解月間
西名古屋分区大会（IM）
平成21年2月19日（木）
於　ヒルトン名古屋
会員　65名
出席計算数　65名中65名出席
出席率　100.00％
前々回出席率　98.39％

ニコボックス

西名古屋分区大会（IM）をお祝いして。
小澤　幸男・前田　隆久
近藤宏一郎
次年度のIMを宜しくお願い致します。
新沼　操

第2760地区　分区大会（IM）
ホストクラブ／名古屋瑞穂RC
テーマ「見ようロータリーを　聞こう地球の囁きを　感じよう友情を」

◆第一部
新人会員研修セミナー

◆第二部　式典

◆第三部　講　演　／4F「竹の間」
「日本よ、勁き国となれ」
櫻井よしこ氏（ジャーナリスト）

◆第四部　懇親会　／5F「扇の間」

ガバナー挨拶（写真右上）、次年度分区大会ホストクラブ会長挨拶（左上）、次年度ガバナー補佐挨拶（中央）、櫻井よしこ氏講演会（左下）

第1204回例会

世界理解月間
平成21年2月26（木）
於　名古屋東急ホテル
会員　65名
出席計算数　56名中42名出席
出席率　75.00％
前々回出席率　89.09％

ゲスト

名古屋少年少女合唱団指導者
愛知県立芸術大学非常勤講師
谷　鈴代さん
アシスタント
岡田いく子さん
米山記念奨学生
徐　冬梅さん

ニコボックス

欠席ばかりで申し訳ありません。
尾上　昇・鈴木　基仁
ネームプレートの配置が丁度中程になっていました。
湯山　淳三
事務所の所在が変わりました。今後ともよろしく。
酒井　修
内藤さん、お仏壇ありがとうございました。檀家感激です。
渡辺　観永
新しく事務局に入られた本田さんをよろしくお願いします。
松永　裕子
誕生日です。
吉田　隆彦
誕生月です。
太田　裕
松本　哲朗
浅井　隆宣
妻の誕生日にプレゼントをいただき、ありがとうございました。
新沼　操
妻の誕生月です。
高木　政義
結婚記念月です。
川畑　博敬
鈴木　洋
38回目の結婚記念日を迎えます。
神田　憲

会長挨拶　会長　小澤　幸男

卓　話
名古屋少年少女合唱団指導者
愛知県立芸術大学非常勤講師
谷　鈴代さん
（卓話原稿は次号に掲載致します。）

委嘱状伝達
09～10年度地区役員が以下の方々に委嘱されました。

地区諮問委員会　委員　岡部　快圓
ロータリー未来委員会　委員　住田　正夫
地区総務委員会　委員　杉浦　令淑
IT委員会　委員長　新沼　操
社会奉仕委員会　委員　堀江　英弥
国際奉仕委員会　委員　小澤　幸男
ロータアクト委員会　委員
危機管理委員会　委員
RI青少年奉仕支援グループ
第2ゾーンコーディネーター　神田　憲

25年会員表彰

岡部　快圓・荻巣　賢二
草野　勝彦・浅井　隆宣
神田　憲・尾上　昇
吉田　隆彦・岩崎　征一
内藤　明・浅野　彰
岡田　尚彦・小笠原和俊
藤田　澈・住田　正夫

チャーターメンバーと創立年度入会者、計14名の方々に記念品が送られました

「二人のロータリー交換留学生の悲劇」

RI青少年奉仕支援グループ第3＆4Aゾーンズコーディネーター
第2760地区危機管理委員　神田　憲

1月24日夜、米国オレゴン州ポートランドで、2人のロータリー交換留学生(女子)が射殺されるという痛ましい衝撃的な事件が発生しました。(日本人の交換留学生は含まれていません)

土曜日の夜、ポートランドのダウンタウンで、11人の青少年交換学生（1人の派遣候補学生と10人の受入留学生）が1人の誕生日を祝う為、若者に人気のあるディスコへ向かって歩道を歩いている時に惨劇が起きた。恋人との恋に破れた24歳の自暴自棄に陥った男が、歩道を歩いている人々に向かって無差別に発砲、その後男は自分の頭部を撃ち自殺。11人の学生は、たまたまその時間その場所に運悪くいたことで惨劇に出会ってしまった。

1人の学生（派遣候補生）は胸部を撃たれて死亡、もう1人のペルーからの留学生は下腹部を撃たれて亡くなった。4人の留学生（フランス、台湾、エクアドル、グアテマラ）は致命的ではない傷を負い入院、残りの5人（グアテマラ、2名フランス、アルゼンチン、エクアドル）は軽傷を負った。

銃撃事件発生の1時間後に5100地区青少年交換委員会は知らせを受け、すぐに危機管理マニュアルに従い4人の青少年交換委員、アウトバウンド・インバウンドコーディネーター、委員会幹事・委員長・副委員長、委員会が行動を開始し、入院先の病院の救急センターを訪問し、学生の名前、国、傷の状態の情報把握に努めた。

多くの地区のリーダーたち、ホスト・クラブ、ホスト・ファミリーのロータリアンやボランティアの方々は、皆が協力し合い、その後の処理に誠心誠意努めました。

地区ガバナーは、危機管理マニュアルに従い、被害学生の名前、出身国名、傷害の程度をエド・フタRI事務総長へ第一報として報告した。

事件翌日の日曜日午後、地区青少年交換委員長は緊急会議を開き、ホスト・ファミリー、ホスト・クラブへ伝える惨劇の的確な情報および今後のフォローアップのためのタスクフォースを立ち上げた。

地区青少年保護委員がメディアへの報道官となり、地区青少年交換委員長がすべての青少年交換活動関係の責任者となった。

悲運にも亡くなった派遣候補生・受入留学生2名の追悼の集いが行われ、ペルーからの受入留学生の遺体はロータリアンが付き添い、母親が待つ母国へ搬送されました。当地区の青少年交換学生たちは、事件で亡くなった仲間の思い出の為に、サインをした国旗とペンデルトンの毛布とを、両遺族へ送る予定でいます。

他の傷害を負った学生たちも全員退院し、今では松葉杖なしで自由に歩けるようになりました。そして、事件のトラウマを癒す為のカウンセリングを、地区において心理学専門家から受けています。

オレゴン州とワシントン州のすべての高校では、同様に必要なカウンセリング・セッションを作ることになった。

病院費用、亡くなった学生の遺体の処理と搬送をした葬儀社への費用、学生の親の交通費、カウンセリングにかかる費用、葬儀の費用、そしてその他の費用への支払が、RI、地区そして青少年交換に対する保険から行われだしました。

しかしながら、保険だけではカバーしきれない費用が他にも多くあり、その為の基準を作ることにしました。2009年1月24日信託基金委員会が管理する2009年慈善信託基金が作られ、この基金は「Portland Rotary Charitable Trust for Youth Ex-chang 青少年交換のためのポートランド・ロータリー・慈善信託基金」という名前です。この基金へ寄せられたお金は、犠牲者、犠牲者のご家族、負傷した学生へ援助の手を差し伸べる為に、そして保険でカバーされない支出に充てられます。

また、亡くなられた派遣候補学生の為の記念奨学金基金が彼女のスポンサークラブによって作られた。また、受入留学生のホスト・クラブは将来クラブでホストする青少年交換学生のための記念基金を作る予定である。

「皆様からの励まし・ご支援・お祈りに心より感謝申し上げます。予測不可能なこのような惨劇にどう対処していったらよいのか、その責任の大きさに心がくじけそうになりますが、危機管理のマニュアルに従い、一歩一歩対処しております。このような惨劇にも関わらず、私たちはロータリー家族として、世界の明日を担うリーダーとなる素晴らしい留学生と共に、この青少年交換プログラムをますます発展させていくことは、私にとりまして大切な仕事であることに変わりありません。皆様のご支援に感謝しつつ。」

アメリカ5100地区青少年交換委員長のChuck Itoh氏は以上の様に述べられています。

長年の友人であるChuck Itoh氏は5月23・24日に東京で開催される第14回日本青少年交換研究会に出席をされ、この事件の報告をされます。

新事務局員紹介

本田さやか

一日も早く覚えて頑張りますので、よろしくお願いします。

3月12日（木）例会の案内

新入会員卓話
「今　思うこと」　松永　裕子さん
「　椙・連・報　と私」　春日井和良さん

3月19日（木）例会の案内

「NGNの動向（サービス展開状況と新サービス）」　上山　和彦さん

クラブフォーラム

広報委員会
杉本　英夫・木村　光徳
加藤巳千彦・佐々木　功